

【雨天の場合】 子ども会対抗競技 詳細

スポーツフェスタ12は子ども会対抗競技種目毎に順位を争う。

【雨天の場合】

参考 【晴天の場合】

□大縄跳び

□大縄跳び

□箸でつまんでホイ

□ウォーターリレー

□スプーンリレー（学年・男女問わず：□子ども会対抗リレー（学年・男女問わず：6人）

1. プログラムNo.2：大縄跳び

①競技方法

- 各子ども会の大人が大縄の両端を持って大きく回し、その中を選手がタイミングを合せて飛び競技。
- 大縄に引っかかることなく、連続してより多くの回数を飛ばたかを競う競技。
- 1組8人を基本とします。但し、8人に満たないチームはオープン参加として認めます。

②ルール

- 練習時間は、およそ1分間とする。
- 審判のスタートの合図とともに競技を開始し、競技時間は3分間とする。
- 競技時間内では、一度失敗しても何度でもトライ可能とする。
- 競技時間終了の合図があっても、連続して跳躍している時は失敗するまで競技を続ける事が出来る事とする。

③順位決定

- 子ども会単位で複数組参加している場合は、最高回数を飛ばした組の記録をその子ども会の記録とする。
- 参加子ども会の中で跳躍回数の多い順から順位を決定する。
- 同回数の場合は同順位とする。

2. プログラムNo.3：箸でつまんでホイ（雨天時）低学年

①競技方法

- 各子ども会の10人低学年児が割り箸をバトン代わりにして10粒（大豆）を皿に移す競技。
- 審判のスタートを合図に先頭選手は10粒（大豆）を皿から割り箸で豆を一つづつつかみ隣の皿に移していく。
- 10人の選手が終わった時にゴールとなる。

②ルール

- 参加子ども会が多い場合には、A組B組の2組に分かれて競技する。
- 低学年児だけで10人に達しない場合は、幼稚園児か又は重複しての参加を認める。
- 審判のスタートの合図とともに競技を開始し、10粒（大豆）を移動する。
- 皿の上から落ちてしまった場合は対象外とする。

③順位決定

- 10人が早く終わったチームを1位から順位を決定する。

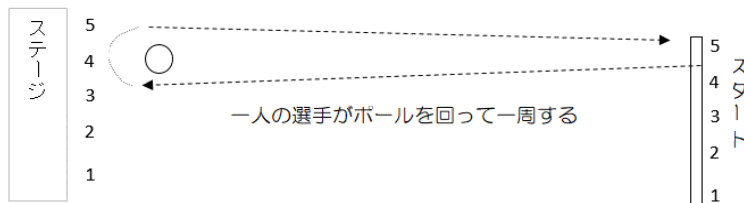
④競技進行上の注意点

- 皿と皿の位置を公平に位置決めする。（テープ等で固定する）

3. プログラムNo.5：スプーンレース（学年・男女問わず：6人）（雨天時）予選/本選

①競技方法

- 各子ども会の対抗リレーの選手6人が順番にスプーン（カレー Spoon）の上にピンポン玉を乗せて運び、次々にリレーしていく競技。
- リレーの順番は対抗リレーと同じとし、最後の人がアンカーとなる。
- 6人に満たないチームは重複の参加を認める。



②ルール

- 走っている時に、スプーンからピンポン玉が落ちてしまった場合は、ピンポン玉を自分で拾い落とししたところへ戻ってから再び走り始める。（審判の指示に従う）
- スプーンは柄の先端を持って走ること。
- ピンポン玉に近いところを持って走った場合には警告、失格の処置をとることもある。
- 各組1位が決勝進出できる。

団体競技組み分け

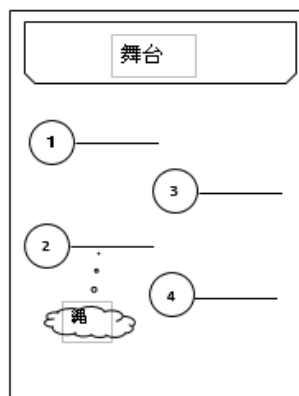


プログラムNo.2 大縄跳び 雨 *雨天時は、会場が体育館なので組を4チームにする。

1組		2組		3組	
No.	チーム	No.	チーム	No.	チーム
①	本行徳2	①	末広-C	①	末広-B
②	本行徳4-B	②	本行徳3	②	塩焼3-C
③	本塩-C	③	本塩-A	③	本行徳4-A
④	塩焼3-B	④	塩焼3-A	④	本塩-B
計	4	計	4	計	4

4組	
No.	チーム
①	末広-A
②	本塩-D
③	塩焼3-D
④	
計	3

体育館用



【雨】プログラム②大縄跳び 組ごとの子ども会数

子ども会名	1組	2組	3組	4組	総計
本行徳2	1				1
本行徳3		1			1
本行徳4	1		1		2
本塩	1	1	1	1	4
塩焼3	1	1	1	1	4
末広		1	1	1	3
総計	4	4	4	3	15

プログラムNo.3 箸でつまんでホイ 雨

※ウォータリレーと同じ組合せです。

No	A 組	No	B 組
1	本行徳2	1	本塩-B
2	本行徳3	2	塩焼3ちどり-B
3	本行徳4	3	末広
4	本塩-A	4	本塩-C
5	塩焼3ちどり-A	5	

プログラムNo.3 箸でつまんでホイ 雨

※対抗リレーの予選をご覧ください。